

おかえり台車 大修復

56年ぶり美川和波町

2年後の祭りに向け 漆、金箔全て塗り替え

白山市美川和波町は、美川地区で藩政期から続く「おかえり祭り」で使用する台車を56年ぶりに修理する。2年後の祭りで、神輿や台車が通る道筋「おかえり筋」を担当することから、老朽化の進む台車を直すことにした。修理を請け負う北島仏壇製作所の職人が25日、美川浜町の収蔵庫前で台車を解体。県伝統工芸品である美川仏壇の粋を結集し、豪華絢爛な姿をよみがえらせる。



台車を解体する職人
＝白山市美川浜町



美川和波町の台車

美川和波町の台車は天保年間(1830～44)に造られたとされる。その後、大火で焼失したと伝えられており、現在の台車は1931(昭和6)年に住民有志が協力して建造した。当時は白木地に金色の金具を施した姿で、63年に解体修復した際に漆塗り仕上げされた。長さ5・3メートル、幅3・3メートル、高さ4・8メートル、台車胴体の鏡板12枚には花鳥風月を描いた蒔絵が施されている。

おかえり祭りは藤塚神社の春季例大祭で、県無形民俗文化財に指定されている。毎年5月の第3土、日曜に行われ、13台の台車が

神輿を先導して美川地区を練る。「おかえり筋」は10町会が持ち回りで務めている。

解体作業では、4代目塗師北島昭浩さん(54)が職人8人がゴム製のハンマーなどを駆使して台車の各部品を取り外した。北島さんによると、台車は通常30～40年に1回解体修復し、半世紀にわたって使われ続けてきたのは珍しいという。

今後は傷んだ車輪を交換し、漆や金箔も全て塗り替える。来年3月の完成を予定している。美川和波町東区長の笠原幸治さん(70)は「おかえり筋は10年に一度の特別な役割。真新しい台

車で務めを全うしたい」と意気込んだ。

水道管の役割が

白山・河内小

白山市管工事協同組合青部の地域貢献事業「ありとろくの水のある暮らし」は、日、同市内小で行われ、4年生10人が水道管の割や水道水が家庭に届く「SDGs



水道管の役割が

高さ15メートルの橋上で新幹線橋の連結式

川北

25日に高さ15メートルの橋上で行われた北陸新幹線手取川橋梁の連結式典では、鉄道・運輸機構(鉄道・運輸機構)の渡邊修大阪支社長、内田滋一県企画振興部長、善田善彦、橋本崇史両県議が45

北陸新幹線手取川橋梁の連結式で記念撮影する出席者

白山曼荼羅を公開

白峰・林西寺 夏山開き前に

に至る参詣道のは付近には阿弥陀如来の描かれている。前作とみられ、市文化財の指定を受ける。加藤彰教授は、白山曼荼羅には仏教の山とけられていた。白山曼荼羅は、7月7日寺で安置する仏像の拝観者が対象。前10時と午後2時の説明を行う。



特別公開された白山曼荼羅に見入る来場者

＝白山市白峰の林西寺

方針を示した。2021年4月の開設を見込む。市子ども・子育て会議の提言を受け、現在の市内16園から17園に増やす。保育園や認定こども園の運営実績がある社会福祉法人が学校法人、特定非営利活動法人を公募する。市役所以北に定員130人程度の施設

民間保育園 誘致を報告

野々市市議会常任委

野々市市議会2常任委員会は25日開かれ、教育福祉委で市側は今後の保育需要の増加に対応するため、民間保育園の誘致に取り組む

市議会特別委

小松基地回答 9月の航空祭

ブルーインパルス参加

小松市議会小松基地・空港対策特別委員会は25日開かれた。市側は航空自衛隊小松基地で毎年9月に開催される航空祭に、アクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」(松島基地所属)が今年も参加すると、小松基地から回答があったことを報告した。

チーム使用機の不具合により全国で飛行展示が見送られてきたが、部品の交換を終えた機材で再開することが決定した。チームは通常6機編隊だが、市側は現時点で6機そろえるかは分からない」とした。

28日に開幕する20カ国・地域首脳会議(G20大阪サミット)に合わせ、27日から3日間、小松基地のF15戦闘機が大阪方面へ飛行する。防衛省による小松基地周辺の住宅防音補助事業で、高齢者世帯などのエアコンを優先して交換する特別制度について、25日時点で十数件の申請があった。

「滑走路」意見書

3月可決も異議
特別委では、3月定例会で可決された「小松空港の2本目滑走路の建設についての意見書」をめぐり、川崎順次氏(自民党こまつ)が「国も県も市も動きが見

を議論するよう求めた。和田真司市長に近い第1会派「会派自民」が主導した意見書にあらためて異議を唱えた格好だが、受け入れられなかった。

3月定例会での意見書の採決では、会派自民が賛成した一方、和市長と距離がある第2会派「自民党こまつ」は反対し、13対7で可決された。

川崎氏の発言に、会派自民の新田寛之氏は「時間をかけて(実現性を)研究すべきだ」と反論し、同じく会派自民所属の灰田昌典委員長は「可決したからには努力をしなければならぬ」と新田氏に同調した。

民間保育園 誘致を報告

野々市市議会常任委

野々市市議会2常任委員会は25日開かれ、教育福祉委で市側は今後の保育需要の増加に対応するため、民間保育園の誘致に取り組む

石川南